

150周年記念をみんなで盛り上げようとロゴマークを作成。小学校を象徴するクスノキを中心にオンラインワンをイメージし、これまでに関わった人の思いを葉っぱに込められています。



市原小学校創立記念集会 創立150周年

くすのきの詩プロジェクト始動

令和4年12月に、創立から150年を迎える市原小学校で、12月1日、創立記念集会が行われました。
12月1日は、市原小学校の創立記念日。学校では毎年記念集会が行われていますが、今年も、創立150年を目前に控えているため、プレセシモノーとして記念日をお祝いされました。
この日は、まずランチルームに集まった児童を前に、修復を終えた旧校舎の模型がお披露目されました。これは、昭和59年の卒業生が卒業記念に製作されたもので、修復された中寺吉宣さんは、



「思い出が詰まった校舎の記憶を残そうと、37年前に6年生のみんなで製作したものです。損傷が酷くお蔵入りしていました。150周年を前に再び披露することができて嬉しい」と紹介されました。
続いて地元の市田重太郎さんが、小学校の歴史や戦時中の学校の様子、校舎建築のために行われた集米制度についてお話しされ、児童たちは熱心に聞き入り、市田さんにたくさん質問を投げかけていました。
最後に、児童たちから校歌斉唱と、150周年を記念して児童みんなが作詞に関わった「くすのきの詩」の朗読が行われました。
市原小学校の前身となる学校が明治6年（1873）に



市原小学校の思い出を語る市田重太郎さん

創立してから150年を迎えるにあたり、市原小学校では、実行委員会により記念事業が企画されています。「子どもたちがクスノキのような大きな夢を持って育ってくれること、また、地域とともに歩む市原小学校であり続けることを願って記念事業を企画していきたい。めざせ、200年です」と話されています。

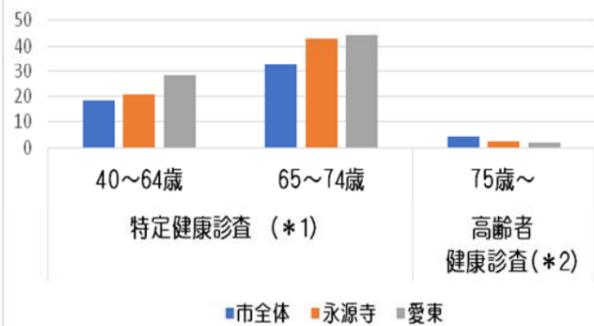
(上) 修復されお披露目された旧校舎の模型 縦横約1mの大きさ
(中) 昭和59年の卒業生で、模型を修復された中寺吉宣さん
(下) 模型を説明する市田さんと、食入るように見つめる児童たち

編・集・後・記

編集後記は、まちづくり協議会情報部員が持ち回りで書いています。今回は順番ではないのですが、100号記念ということ、不肖部長の私が担当することになりました。約500字の編集後記はなかなか大変で、文字数を減らしたらどうかという部員の声の中、17年間続いております。時事の話、趣味の話、仕事の話、家庭の話、地域の話等、内容は担当者任せ。どのような内容の編集後記が上がつてくるのか最後まで分かりませんが、私は毎号それを楽しみにしています。地域の皆様の読んでいただけた感想は如何でしょうか。部員の皆さんには今後も思いの詰まった内容の記事を期待しているところです。
おがましいですが、素人集団作成の情報紙が、旧永源寺町の『広報えいげんじ』を引き継ぐ形になりましたが、これからも取材に迅速に出掛け、地域の話題や情報を掲載して、地域課題も皆さんと共有できる紙面づくりに努めていきたいと思います。合わせて、発刊当初は白黒印刷でしたが、表紙のみカラー印刷になり、今は全紙カラー印刷となりましたので、見ても楽しい情報紙となるように心がけていきたいと思っております。すでに発行済の情報版199号にも書かせていただきましたが、地域の皆さんからの情報やご意見を是非お寄せいただきたいのと、100号発行にあたっての応援メッセージがいただけたら誠に幸いです。(e-f)

こんにちは 保健師 です ⑧
今年度の健康診査を受けられましたか？

令和2年度健診受診率(表①)



※1 特定健康診査（国民健康保険加入者）
※2 高齢者健康診査（後期高齢者医療保険加入者）

表①は生活習慣病予防のための健康診査の市全体と愛東地域と永源寺地域の受診率です。令和2年度は新型コロナウイルスの影響により低下しています。隣の地域である愛東地域に比べると永源寺地域は、受診者は少ない状況です。何も症状がなくても、血圧や血液検査などで血管の状況を確認できる健診を1年に1回は受診しましょう。

心不全での受診者割合(表②)



表②は生活習慣病の中の心不全（被保険者数割）の状況です。永源寺地域は市内で心不全で治療している人の割合が一番高い状況です。心不全は、狭心症や心筋梗塞、弁膜症等の心臓の病気だけでなく、高血圧でも心不全の状態に陥ります。血圧が高めの人は自覚症状がないからと放っておかず、生活習慣の改善や服薬で適正血圧を保ち、心臓への負担を減らしていくことが大切です。

地域にお出かけして
まちの歴史を再発見!!

永源寺コミュニティセンター事業



10月1日、茨川出身の筒井正さんの案内で、昭和40年に廃村した茨川の集落を訪ねました。



10月23日、永源寺高野町にある四国八十八箇所の霊場を巡りました。



10月29日、ちよこっとバスに乗って道の駅奥永源寺溪流の里へ。自動運転車両に乗車した後、黄和田町を散策しました。

まちの話題



キャンプ場までピワマスを!!
堰堤を遡上させる魚道づくり



「茨川にピワマスを上らせようプロジェクト」が、11月7日に行われ、愛知川漁業協同組合の呼びかけに市民や関係機関の職員など約50人が参加されました。このプロジェクトは、愛知川をもっと豊かな川にするため、秋になると産卵するピワマスを茨川の上流まで遡上させようという試みです。この日は、高さ2.5mの堰堤に鉄パイプを取り付けプラスチック製のU字溝で魚道を作る作業が行われました。発起人である村山邦博組合長は、「河川法との関係で今回は試験的な実施ですが、上流のキャンプ場までピワマスが遡上できれば子どもたちが観察することもできる。来年秋までには完成させたい」と話されていました。

市原にこにこの森で苗木を植樹
全国植樹祭のイベント



来年6月5日に滋賀県で開催予定の「第72回全国植樹祭」に先立ち、11月13日、植樹会場の一つである新出町地先の「市原にこにこの森」で植樹祭イベントが開かれました。当日は、一般公募した家族連れや緑の少年団、地元自治会など約100人が参加しました。開会式や記念写真のあと、永源寺森林組合の人から植え方の説明を聞き、エイゲンシザクラ・コナラ・ケヤキ・イロハモミジ・ユズリハなど、8種類の広葉樹の苗木300本を丁寧に植えました。また、木製のコースターやキーホルダーづくり体験や薪割りなど、木に親しむ体験活動もあり、スタッフに手伝ってもらいながら斧で大きな丸太を割る子どもの姿も見られました。

奇岩・お金明神をテーマに
コミセン公開講座



11月27日、鈴鹿10座エコツアーガイドクラブの加藤紳一朗さんによる「お金明神の伝えと拝みの道」と題する講演があり、山の好きな人や歴史の好きな人が多く参加され、興味を持って熱心に聞いておられました。お金明神の歴史、若宮八幡神社や鉾山との関わり、自然の造った天狗の岩に、一泊二日でお参りをしたときの神主さんのことを思うと、今のように交通事情も良くなさず、山道を歩いて行くことしかない時代で大変だったと思いますが、当時は山に多くの人が入っており、それなりに道はしっかりとっていたようです。この岩が車で行ける所があれば、素晴らしい観光地になるかもしれませんが、やはり、ひっそりと鈴鹿の山中に眠っている方が神秘的で、再度訪ねてみたいとなりました。

避難所での運営をゲーム形式で
コミュニティ防災講座



11月13日、永源寺コミュニティセンターでコミュニティ防災講座が行われました。福祉防災コミュニティ協会の湯井恵美子さんを講師に迎え、自治会、各種団体の防災活動関係者が参加されました。参加者は6グループに分かれ避難所開設から運営をゲーム形式でシミュレーションし、避難所での問題点を話し合い、できるだけストレスの少ない避難所運営を学ばれました。台風や豪雨による土砂崩れの災害には、早めの避難が一番の防災です。早めの避難を促すためには、安全で安心できる避難所運営が必要で、自主防災組織、自治会の協力が大きなカギを握っています。参加された方は、「ゲームは難しかったが参考になりました」と感想を述べられていました。

謹賀新年

歴史の面影、こころの旅

永源寺

臨濟宗永源寺派大本山

TEL 0748 - 27 - 0016

EIGENJI MOMIJI

芝生の園庭で運動会 永源寺もみじ幼児園

3.5歳児 10月 9日
4歳児 10月15日



(上)開館した交流館
(下)氏子狩帳の複製や木地師関係の資料を展示

クローズアップ☆



君ヶ畑町・木地師のふるさと高松会

築63年の空き家を改修 木地師のふるさと交流館オープン

「木地師のふるさと」として知られ、惟喬親王伝説が色濃く伝わる君ヶ畑町に、空き家を改修した交流の拠点施設が完成し、10月23日、開館式が行われました。

過疎と高齢化が進む君ヶ畑町では、さまざまな地域資源を活用して交流人口を増やすことで、地域を活性化させようと、5年前に有志が集まり「木地師のふるさと高松会」を発足されました。

「限界集落を嘆いていても始まりません。生まれ育った者たちが行動を起こさないと」と、史跡を紹介するガイドブックの作成や木地師文書的一般公開を皮切りに、御池岳や天狗堂の登山ツアー、茶摘み体験、源流キャンプなどを次々と企画。「歴史も自然もほんまもん」と、確信したといいます。

コロナ禍でイベントが開催できない中、会を発足した当初から目指してきた「源流に触れる場所づくり」への思いが高まり、築63年の空き家を借用し、改修費用は「東近江



交流の間で来館された方とお茶を飲みながら話が弾む

三方よし基金」の休眠預金を原資とした地域活動助成金を活用、また、企業の協力を得て文化財を複製するなど、知恵と努力が結集して、このほど交流館が完成しました。

交流館には、木地師や政所茶の歴史を伝える資料を展示する14畳の展示スペースと、来館者と懇談できる交流の間が設けられています。

「君ヶ畑は御池川流域に位置し木地師の聖地。木地師関係者も来訪されますので、源流と交流をコンセプトに、君ヶ畑の歴史・文化を伝え交流人口を増やしていきたい」と話されます。

開館は日曜日の午前10時〜午後3時。ただし、12月〜3月までは休館となります。

「横断歩道は歩行者優先」を呼びかけ 永源寺もみじ幼児園の園児

「交通事故死ゼロを目指す日」(9月30日)にちなんで、前日の29日、永源寺もみじ幼児園の5歳児30人が交通安全の啓発を行いました。

この日参加した園児は、ジュニアポリスの制服、制帽姿で街頭からドライバーに向けて「横断歩道は歩行者優先」などを呼びかけたあと、「じこにあいせんように」などを短



冊に手書きし、願いを込めてくりつけた風船を一齐に飛ばされました。(写真は市広報課から提供)

まちづくりの地域情報紙 **e-NET 100号** 発行あめでとうございます!

動画広告・WEB広告 プロモーション動画

企業から企業へ、企業から消費者へ「伝える」

動画広告

360° VR・動画

Web Book

プロモーション動画

WEB広告

近江印刷株式会社 〒529-1302 滋賀県愛知郡愛荘町川原771-1 ☎0749-42-8400



迫力ある近江和太鼓団「巴」(うずまき)

文化作品展示



芸能発表とロビーコンサート



良い夜いコンサート(図書館)



コンサート(トニー・レーブ)



体験・クラフトコーナー



特産加工品・地元野菜販売



バルーンアート(マリリン)



17歳になりました
松吉義弥さん(一式町)

このたびの100号、おめでとうございます。

突然、「誰?」と、なった方ばかりだと思います。自分で言うのもなんですが、第1号に掲載されていた子です。今やもう17歳になりました、あのときは1歳ぐらいの頃です。

掲載されていることも知りませんでした。突然、100号のコメントを書いて欲しいとお願いされ初めて知りました。家族も忘れていたほど昔のことです。

今の自分は、高校2年生で部活と勉強に毎日追われている日々です。それなりに頑張っているつもりです。なので、これからも「e-net」さんも長続きするように頑張りたいです。

またこうして第100号に掲載していただき、ありがとうございます。



創刊から17年
おかげさまで
100号迎えました

東近江市が合併した年の6月に創刊し、永源寺地区の話題をお伝えしてきた e-NET6500 がお陰さまで100号を迎えました。

当時の永源寺地区の人口が6000人余り。少しでも増えてほしいとの願いを込めたのがその由来ですが、令和3年10月末に5000人になってしまいました。

それでも地域の皆さんに元気をお届けしようと多くの方に取材をさせていただいたり、情報の提供をいただいたりしながら発行し、活動を続けてきました。

これからもいろんな所にお邪魔して、地域のホットな話題をお伝えしていきたいと思えます。





大本山永源寺 ライトアップ

今年も11月13日から28日まで、大本山永源寺のライトアップを行いました。



まちづくりの原点とは 左近弘國さん(青野町)

情報誌 e-net6500、100号おめでとうございます。16年間の取り組み本当にご苦労さまでした。写真が毎号カラフルで担当者のご活躍に敬意を表します。内容も「まちの話題」から始まり、時宜に応じた関心のあるトピックスを取り上げ、興味のある内容になっています。しかし、少し物足りなさを感じたのは、まちづくりについての各集落の情報が少ないことです。永源寺地区まちづくりの原点は、各集落

の自治会のまちづくりにあると思います。今はコロナ禍で各集落とも集会やイベントができないと思いますが、上手くいった取り組み等を各集落から紹介してもらえば、自分たち集落の自治会活動の参考になり、ひいては永源寺地区全体のまちづくりの活性化にもつながるのではないのでしょうか。コロナが落ち着いたなら是非検討してください。



ともしびコンサート



遠くから応援しています

岩崎 隆さん (埼玉県)

『ふるさとは遠きにありて思うもの』(室生犀星)、良き思い出や山河があればこそ。

『ふるさとは住みて背負う重さかな』とも換言し得るのではないか。

所以『e-net6500』は貴重な情報発信源であり、親愛と連帯の複雑な思いが湧いてきます。

永源寺を離れて早55年。『e-net6500』活動の中心に同級生や知り顔があることに衷心

から拍手喝采し、楽しく嬉しく拝読しています。

ふるさとでたくさんの恩を頂いたことに深い感謝の気持ちで一杯です。せめてその一部を恩返しできればと思い私も終の棲家とする埼玉の一角で地域包括連携の福祉・文化・教育など様々な方面でボランティア活動に参加し、安心安全の街づくり、絆を繋ぐ市民活動をしています。



紙面から地域愛を感じます

緒方友香さん (山上町)

創刊100号おめでとうございます。創刊以来約17年、地域に根付く取材活動による紙面の充実にかを注がれ、身近な生活情報を有益な情報として発信されておられることに敬意を表する次第です。

私たち家族も、こちらの情報誌でスポーツをする息子を2度記事にして頂きました。取材を受け、仕上りの記事を読ませて頂いた際に、ライターさんの熱意のこもった文章に感動し

たのを覚えています。

記載頂いたことで、地域の方々からも、温かい応援の言葉をたくさん頂き、家族一同本当に感謝しています。

この情報誌は地域の関心を深め、活性化をはかるために、沢山の皆さんの熱い思いが込められたものだと思うので、これからも益々のご活躍を応援しています。





200号めざして飛躍を
小寺盛夫さん(和南町)

まちづくり協議会情報紙の100号発刊誠におめでとうございます。100号の大会に関係者の皆様方には、さぞ感慨深いものがあることと拝察いたします。

北海道のアイヌの人たちの諺に『先頭を行くものは露に濡れる』と伝わっていると聞いています。近年はものごとの先頭に立ち、特に露に濡れる事を敬遠する風潮が強いように思われますが、その時にあたってまちづくりと言う難

題に果敢に取り組んでおられる事にエールを送りたいと思います。

平成の大合併は大きなことはともかく、小さなことが少し脇に置かれている気がいたしますが、今後共により良いまちづくりのための情報紙として200号創刊を目指してさらなる飛躍をお祈り申し上げます。



表紙の写真が素晴らしい

野神信子さん(黄和田町)

e-NET6500、100号を迎えられるということは、約10年前からでしょうか？おめでとうございます。

まず、表紙の写真、季節に合わせて素晴らしい、目を惹きます。

参加呼びかけのイベントのお知らせ、くらしのカレンダー、なかなか孫の予定までも把握出来ずということで、学校・園だよりは嬉しいです。

まちの話題も知っている方が載っていると、元気をもらったりで、楽しく読ませてもらっています。

これからも、より充実した情報紙の続行をお願いいたします
追伸)まちづくり協議会の行事も、いろいろ参加させていただき、皆様のご尽力に改めて感謝しております。

e-NET 6500 ONE

紫根染の初体験

祝成人

地区大運動会

魚さばき 男の料理教室

合併10年、さらなる発展をめざし、あけまして、おめでとうございます。

e-NET 6500 ONE

夏の思い出へみじこ夏祭り

大さくすく! 10月にもみじこ

安全・新たに 祝成人

e-NET 6500 ONE

祝成人

夜空を焦がす たいまつついで

猛暑 吹き飛ばせ!! もみじこ

e-NET 6500 ONE

秋所茶を守る 茶の心

祝成人

謹賀新年

e-NET 6500 ONE

全線改修に大きな一歩

新入生自習道場

祝成人

e-NET 6500 ONE

新入生

女性スタート

わたしも、チャレンジ!

祝成人

e-NET 6500 ONE

緑の空を飛ぶ

祝成人

恭賀新年

鶴秋の永源寺

e-NET 6500 ONE

9月は防災月間です。

まつく4Q発表 新たなスタート!!

祝成人